

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度
国際ロータリーテーマ

世界に希望を生み出そう

RI第2670地区2023-2024年度
ガバナー 吉岡 宏美

Rotary



2024

5

vol.11

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2670
2023-2024 Governor Office
Tokushima-City, Tokushima



世界に希望を生み出そう

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

May 2024 vol.11



鯉のぼりフェスティバル

徳島の鯉のぼりフェスティバルは毎年端午の節句に吉野川沿いで開催される伝統行事です。このフェスティバルは徳島の風物詩として、大小さまざまな鯉のぼりが風に舞い、川面を泳ぐ様子が美しい光景として家族や観光客に楽しまれています。親しまれ、日本の伝統文化を体験できる貴重なイベントです。鯉のぼりは子どもたちの健やかな成長を願う象徴で、地域コミュニティの絆を深める重要な行事です。

CONTENTS

ガバナーあいさつ	ガバナー 吉岡 宏美	4
コロナとの闘い心のワクチン		5
長期交換学生からの便り		6
香川第Ⅰ・第Ⅱ分区合同インターシティミーティング		8
小松島南RC50周年を迎えて		9
地区委員長あいさつ		
会員増強維持退会防止委員委員会	委員長 安藤 修二	10
クラブ奉仕委員会	委員長 大平 正大	
職業奉仕委員会	委員長 三谷 芳広	11
社会奉仕委員会	委員長 祖父江 貴	
国際奉仕委員会	委員長 篠田日出海	12
青少年奉仕委員会	委員長 荻田 智子	
ロータリー財団委員会	委員長 赤松 昭信	13
米山記念奨学委員会	委員長 久岡 征司	
広報・IT委員会	委員長 坂本 厚子	14
ロータリー公共イメージ向上DEI委員会	委員長 三浦 聖人	
3月度出席報告		15
受賞者一覧		16

Governor's
Message

5月は青少年奉仕月間です。

国際ロータリー第2670地区 2023-2024年度
ガバナー 吉岡 宏美国際ロータリー第2670地区
2023-2024年度 ガバナー

吉岡 宏美

ロータリーの特別月間のうち、5月は、若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てる「青少年奉仕月間」です。ロータリークラブは、この月間中、クラブのニュースレターやその他の広報資料に「各ロータリアンは青少年の模範」のスローガンを利用するよう奨励されています。

青少年奉仕の基本的方針(ロータリー章典2015, 8.050.)

国際ロータリーの第5奉仕部門である青少年奉仕は、ロータリーが若い世代を重視していることを表している。それは、青少年が将来出現する課題を克服できるよう、私たちがロータリアンとして、青少年への奉仕、青少年の将来に対する奉仕、さらに人類全体への奉仕を通じて様々なツールを提供しようと努力することである。一つの奉仕部門において、青少年に対するプログラムやプロジェクトを組み合わせることで、クラブや地区はより強いアプローチで、この価値ある活動に関与することができる。

青少年奉仕には以下が含まれる。

1. 青少年の間で高い倫理基準及び倫理的な意思決定を奨励する。
2. 青少年のニーズや願望や関心を理解し、認識する。
3. 青少年に機会を提供する。
4. 国際ロータリーが提供する人道的、指導力養成、教育関連のプログラムへの青少年の参加を奨励する。

**ロータリーの新世代奉仕プログラムのビジョン及び理念
(ロータリー章典2015, 8.050.1)**

ロータリーの新世代プログラムは、未来への投資である。ロータリーの新世代奉仕プログラムを通じて、ロータリアンは新世代とロータリーの理念や伝統を次世代の若者たちと共有することができる。

青少年奉仕のプログラムとして、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換などに積極的に取り組みましょう。

Foundation
Project

コロナとの闘い 心のワクチン

高知東ロータリークラブ ロータリー財団委員会
委員長 市川 哲司

高知東ロータリークラブは、地区補助金事業として、プロジェクト名「コロナとの闘い 心のワクチン」と題しまして、令和5年10月25日に総合あんしんセンターで、デジタル体温計20個、N95マスク10箱、カタログスタンド2台を高知市保健所へ寄贈しました。そして、同日豊田誠保健所長にザクラウンパレス新阪急高知で、「今後の高知市保健所の新型コロナの対応ー新型コロナとの闘い 心のワクチンー」という題で卓話をさせていただきました。



このプロジェクトのきっかけは、令和4年10月19日の豊田保健所長の卓話でした。「第1波から第7波にかけ保健所が新型コロナ患者への入院調整やクラスター対応、自宅療養者の支援と、新型コロナの対応に戦闘消耗し疲弊しました。しかし、日々の暮らしのすき間にひ



そむ真に大切なものや、人々と気持ちを通い合わせることで心のワクチンとして心を鼓舞し新型コロナに対応しました。」この卓話を聞き、何か保健所にできることはないだろうかと思いました。実は、私が令和3年8月に新型コロナに感染しまして、自宅療養で、保健所から、段ボールいっぱい食料品やパルスオキシメーターを届けてもらい、また、毎日の電話で手厚く看病してもらったからです。一人の人間にこれ程の労力をかけるのだから、保健所が戦闘消耗することはよくわかります。

この寄贈は、保健所へのねぎらい、心のワクチンになれば良いと思い贈ったものです。寄付を通して社会を変革できたらよいと思います。そして、この心のワクチンが保健所へのRI会長のいうメンタルヘルスケアになれば良いと思います。

卓話では今後の感染症の対応として新型コロナや結核を例に、寄贈した品々を心のワクチンとして市民一人ひとりを支援したいという話を伺いました。

私達の願いは通じたようです。

Letters from
Long-Term
Exchange
Students

長期交換学生からの便り

伊予 RC からアメリカ D5100. オレゴンに派遣
長期交換学生 森 奈々子

私がアメリカに来て、半年が経過しました。

これまでを振り返ると、毎日この交換を意義あるものにしてと奔走していたように感じます。そうして得た成果は今確かな私の自信となって、さらなる目標を立て、これからも成長するための基盤となっています。

私はアメリカに来て、かねてから計画していたリモート交流を実現させました。これは派遣先の高校と私の母校をつなぐ交流で、ほぼ生徒の力のみで行い、生徒でも行動力次第で国際交流の場を作れるという大きな感動と、私の呼びかけに応じて交流に参加してくれたアメリカの生徒に対して感謝を感じました。

前例の無いことを自分の指揮の元行うことはプレッシャーでしたが、自分が準備してきたことと英語がわからないなりに頑張って協力を求めた甲斐が実を結び、八千kmを超えた交流につながりました。この時の達成感、非常に心地のいいものでした。

また、RCのオリエンテーションをはじめとするイベントでは、今まで関わったことのなかった様々な国の生徒と交流し、文化的な違いや考え方の違いに触れました。

中でも特に衝撃を受けたことは、宗教によって食べられないものがある人が本当に世の中にいるということです。キャンプやツアーで一緒になった友人の中には、豚が食べられなかったり、牛が食べられなかったりする生徒がいました。

それは宗教が原因で、今までその知識はあったものの、いざ目の当たりにすると世界の食文化の違いについて考えずにはいられませんでした。

さらに、肌の色の違いもこの目で確かめる事ができました。昨今ニュースでよく人種問題が取り上げられています。私の知り合いに外国人はいなかったため日本にいたころはあまりピンと来ておらず認識も薄かったのですが、アメリカに来て世界には本当に十人十色の肌の色があるのだと感じました。しかし、彼らと交流して思ったことは、肌の色や国籍に関わらず、皆自分の中に確固たる自分の意志を持っていて信念があり、見た目で区別されるよりもはるかに多くの考え方を持っているということです。このRCの国際交流を通じて、相手を見た目で判断するのではなく、しっかりと中身を見る

事が大切だという言葉の本質を体感し、自分と違う文化で育った人たちと関わる事ができたのはとても嬉しかったです。

学校生活では、新しいことにチャレンジし続けることを意識し、レスリングやテニス、吹奏楽などの今まで体験してこなかったことに積極的に取り組んでいます。

運動部では仲間との細やかなコミュニケーションがいかに重要であるかを学び、言語は違えど仲間と親睦を深めて会話をするのがどれほど勝敗に





影響するかを感じました。特にテニスでは仲間とのコミュニケーションが勝負のカギとなります。温かくやさしい仲間にコミュニケーションのコツとフレーズ、更にその言葉を使うタイミングを覚えてもらいながら練習を重ね、私は今すべての試合で勝利を収める事ができ

ています。

しかし、これまでの交換生活は楽しいことばかりではなく、時には自分の自由時間を極限まで削り、いつまでたっても上達しない自分の能力に腹を立てた時や伝えたい言葉は無数にあるのに言葉にならずもどかしい思いもしました。それでも、今日まで何とか踏ん張れたのは、周囲の人々に恵まれたからでもあります。文法がめちゃくちゃな英語をどれだけ下手でも理解しようとしてくれた家族、右も左も挨拶もよくわかっていなかった私に毎日話しかけてくれた友人、困ったことがあれば助けてくれた先生やRC。いつも助けてくれた人々の温かさは今、人種や言葉の壁、国籍、文化の違いを超えた感謝となって、私の中に強く生きています。

先日南西ワシントンの高校の美術作品展にて優秀賞を受賞し、オレゴンの美術大学に進学すれば奨学金が貰えることになりました。今後も世界で輝ける国際人になれるよう、嬉しいことや辛いことのすべてを糧にして残り半年も走り抜きたいです。

Inter-City Meeting Report

香川第Ⅰ・第Ⅱ分区合同インターシティミーティング
テーマ「幸せとは何か」

小豆島 RC・観音寺東 RC IM 実行委員会

令和6年3月23日(土)に2023-24年度香川第Ⅰ・第Ⅱ分区合同IMを小豆島・土庄町立中央公民館にて開催しました。



池田豊人香川県知事・大江正彦小豆島町長・岡野能之土庄町長にご来賓としてご臨席賜り、吉岡宏美ガバナー・丹生兼宏香川第Ⅰ分区ガバナー補佐・安藤修二香川第Ⅱ分区ガバナー補佐に加えて、前田直俊パストガバナー・夏目良宏ガバナーエレクト・吉村保利高知第Ⅱ分区ガバナー補佐にもご出席いただき盛大に開催させていただきました。

開催当日はあいにく小雨が降る天候の中ではありませんでしたが、多くのロータリアンに離島の小豆島までご参集いただき「幸せとは何か」というテーマで斎灯サトル先生に記念講演を実施していただきました。

単純だからこそ難しいテーマではありましたが、コロナ禍を経て世界が大きく変容する中において、自らの考え方・捉え方や行動で幸せを呼び込めるといったような講演内容だったと思います。龍の絵を描きながら講演を行うという独特のスタイルは、会場の皆様も時間を忘れて聞き入っていらっしゃいました。最後の魂入れの刻



には、龍に命が吹き込まれたように感じられ、震えがくるほどの感動を感じることができました。

第二部のオリビアン小豆島夕陽ヶ丘ホテルでの懇親会の前には、小豆島RCの社会奉仕活動でもお世話になっている「宝生院」にお立ち寄りいただき、樹齢1600年以上といわれる国指定特別天然記念物「宝生院のシンパク」や斎灯サトル先生が宝生院に描いた壁画をご覧いただきました。懇親会では希望された方全員を受け入れることは出来ませんでした、人数を事前調整させていただき大変賑やかな懇親会となり、会員相互の交流を深められたかと思えます。最後には懇親会場に入れなかった高松RC・小豆島RCの会員と一緒に「手に手つないで」を皆で歌い上げフィナーレを迎えました。IM結果として763名の全員登録、第一部240名、第二部懇親会は150+31の計181名の成果となりました。遠方よりご参加いただいた皆様に心から感謝を申し上げますとともに、準備にご尽力いただいたIM実行委員会の皆様に御礼申し上げます。



Anniversary
Event

小松島南 RC50 周年を迎えて

小松島南ロータリークラブ 創立 50 周年実行委員会
実行委員長 泉 恭宏

小松島南RCの50周年を迎え、記念事業を企画するにあたり赤井会長の「楽しくなければロータリーではない」をどう表したら良いか模索しました。

今チャーターメンバーが一人も居ませんが、50年前若かりしチャーターメンバーが小松島RCの昼の例会には参加が難しいとの事で、夜間例会での小松島南RCを発足して50年、お陰様で後に続く私達も夜間例会のお陰で続けてこれたと実感しています。

私が入会させていただいた30数年前はピークの42名の時で、それから少しずつ減少して今18名全員参加で計画を始めました。

大半の方が会長経験者で周年も何回も経験しているので、スムーズに計画は出来、弱小クラブですが予算をしっかりと積立ててきました。

少ないですが楽しんでいただきたい、その感謝の気持ちをどう表したら良いかを模索して知恵を出し合い予算の振り分けを進めました。

コロナにより姉妹クラブの台中西南RCとの親睦も3年間実現出来てなく、久しぶりの交流が可能となる時期になり、昨年10月末に台中西南RCへの訪問団15名で50周年の招待に訪問し、久しぶりの熱烈歓迎を受け、この歓迎をどうお返しすべきか検討する中で、少ない予算を最大限に活用するには心と心の友情しかないので、少ない人数ながら一人でも多くの家族共々で参加してもらい、親睦を深める事としました。

記念式典には吉岡ガバナー様、夏見ガバナーエレクト様、岡本県議会議員様、中山小松島市長様、池淵小松



島市議会議長様、佐賀小松島商工会議所会頭様、台湾より姉妹クラブの台中西南RCメガネ会長含め総勢27名様、高知県中村RCより、私が徳島第一分区のガバナー補佐を拝命した時のガバナー、東パストガバナー総勢9名様、第一分区、第二分区ガバナー補佐様、県下ロータリークラブ会長幹事様、総勢130名の皆様の御参加誠にありがたく感謝し、厚く御礼申し上げます。

これからも会員一丸となって夜間例会クラブの魅力十分にアピールし会員一同、志を一つにして会員増強に務め、60周年・70周年に向かって頑張っていきたいと思っています。

これからも宜しく願いして、素晴らしい節目の50周年を終わらせる事が出来ました事、感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございました。



地区委員長あいさつ



会員増強・維持・退会防止委員会

委員長 安藤 修二
(観音寺東 C)



クラブ奉仕委員会

委員長 大平 正大
(鴨島 RC)

今年度、第2670地区の会員増強・維持・退会防止委員会(以下「会員増強委員会」といいます。)委員長を務めさせていただきました観音寺東ロータリークラブの安藤修二と申します。

この一年間、大した仕事はできませんでしたが、私の行った仕事を記録として残す意味を込めてご紹介させていただきます。

私は、香川第Ⅱ分区ガバナー補佐と地区の会員増強委員会委員長を兼務させていただいておりますが、会員増強委員会委員長としての色彩が強い部分を中心に説明させていただきます。

まず、2024年4月の地区協議会の部門別協議会の準備・司会進行から始まりました。私自身は、地区研修・協議会における会員増強・維持・退会防止部門プログラムに出席したことがなかったので、過去の資料を参考に準備をしたのですが、地区内の会員増強の現状のご報告をしていただき、何とか形になったのかなと考えております。

次に、2024年9月に行われた地区のクラブ活性化セミナー【第一分科会】の準備・司会進行をさせていただきました。4月の地区協議会の内容を引き継いで、地区内の各クラブの会員増強の方法についての具体的な紹介・アンケート結果の紹介などを行いました。

2024年4月に東京で開催されたクラブ活性化セミナーに出席した際に、他地区の会員増強委員会の活動報告などもなされ、非常に刺激を受けましたことから、私も何か地区の会員増強委員長として行動しなければと思っていたのですが、なかなか難しかったです。

あまり多くのことは出来ませんでした。一年間ありがとうございました。

これまでコロナウイルス禍の影響で各クラブに於いてもその活動が制限されてきましたが、マスクの着用も本人の意思で自由着用となり、今年度は約3年ぶりに各会員が参加しての地区協議会が開催されました。

クラブ奉仕委員会は他の4大奉仕委員会、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、青少年奉仕委員会を統括し、クラブの年間目標および長期目標に向けた取組を各委員長さんとともに担当する役割があります。また、会長エレクト、会長、直前会長が協力し指導の一貫性と継続性を図る必要性が求められていますが、CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)は毎年見直していただき効果的なクラブ管理の枠組みを提供することにより、ロータリークラブの強化を図ることが出来ます。

ロータリークラブの活性化への取り組み、多様性、特異性のあるクラブづくり、人と人との交流の中で自分自身の成長を実感できる場所であること、委員会活動に関心を持って参加行動すること等を一年間の目標として挙げましたが、委員長として力不足で本年度の活動を報告する内容も無く一年間が過ぎてしまい忸怩たる思いがいたします。この間、皆様にはご指導、ご鞭撻、ご協力を賜りありがとうございました。

地区委員長あいさつ



職業奉仕委員会

委員長 三谷 芳広
(徳島 RC)

社会奉仕委員会

委員長 祖父江 貴
(徳島東 RC)

人類最後の産業革命時代に突入し、AI汎用元年を迎える現在、仕事の在り方を再考する時期に来ていると考えます。山田パストガバナーより多数の書籍を預かった内、アーサー・フレデリック・シェルドンの著作「シェルドンの森を巡る旅 経営学に基づく奉仕理念」に基づき、私の解釈を共有したいと思います。

本文書では、利己主義と利他主義の二つの道を対比し、利己主義を選んだ多数の人々が経済的失敗や破産を経験するのに対し、利他主義を選んだ少数派が真の充実と成功を得ることが示されています。この教訓はロータリークラブのメンバーにとって特に重要であり、職業を通じた他者への奉仕が個人の成長だけでなく、社会全体の向上にも寄与することが強調されています。

シェルドンの哲学は、個々の行動がどのように社会全体の福祉に影響を与えるかを再考する機会を提供しており、自己満足を超えた社会貢献を選択することが真の成功への道であることを教えています。これからの産業革命時代において、私たちは職業を通じてどのように価値を創造し、社会にどのように貢献するかを深く考察する必要があります。

この一年を通じての職業奉仕活動を振り返り、今後の方向性を定めるために、シェルドンの教えを活用することが我々ロータリアンの使命であると考えます。また、1業種1会員で構成される我々の組織は、新しい価値を創出する絶好の機会を持っています。真の懇談を通じて、ご自身の業務に役立つ洞察を得ていただきたいと願います。参考資料はロータリー文庫に多数ありますので、ぜひ一度ご覧ください。

各クラブの社会奉仕委員長様と委員の皆様、そして社会奉仕活動にご

参加いただいておりますメンバーの皆様方、1年間お疲れ様でした。

昨年3月に実施しました社会奉仕活動アンケートにより、各クラブの長年にわたる活動に驚くとともに、敬服いたしました。

今後も更なる社会奉仕活動の取り組みをお願いいたします。1年間の御礼とさせていただきます。

1年間ありがとうございました。

地区委員長あいさつ



国際奉仕委員会

委員長 篠田 日出海
(高松南 RC)



青少年奉仕委員会

委員長 荻田 智子
(高松北 RC)

地区国際奉仕委員会は、「国際理解・国際親善、平和の推進」を大きな目標に次の3委員会構成されています。

- 長期交換委員会：ロータリー青少年長期交換プログラム
- 短期交換委員会：ロータリー青少年短期交換プログラム
- 国際奉仕ファンド委員会：ファンド活用国際奉仕

上記の青少年長期交換及び短期交換プログラムは、共に4年振りの再開となりました。

長期交換プログラムは、8月から各4名の学生を約1年間の交換(派遣・受入)を実施しています。交換先は米国西海岸のオレゴン州、ワシントン州、カリフォルニア州のD5100、D5110及びD5230です。

長期派遣者には、派遣前に数度のオリエンテーションを行い、長期受入者にも、入国後に数度のオリエンテーションやレクレーションを行いました。受入者に対する受入クラブのお世話やホームステイを提供していただいたご家庭には、心よりお礼申し上げます。

短期交換プログラムは、6月末から3週間、米国ニュージャージー州(NJ)からの学生16名を受入、翌7月末にはNJへ学生15名を3週間派遣しました。受入に際し、地区内の各クラブの皆さんには、短期受入者への対応やホームステイ先の依頼等に変にお世話になりお礼申し上げます。短期派遣者は、派遣前に数度のオリエンテーションを行い、帰国後には帰国報告会を行い各青少年が派遣中の経験や感想を述べました。この報告会で派遣後の彼らの成長振りを頼もしく感じました。

国際奉仕ファンドは、コロナ禍中の疎遠が影響して国際奉仕プロジェクトの申請はありませんでした。「書き損じハガキ・キャンペーン」には、地区内クラブから多額の募金を賜り、「ユネスコ世界寺子屋運動」へ寄付しました。ご協力ありがとうございました。

会員の皆さんには、国際奉仕活動への理解や寄付へのご協力にお礼申し上げます。

2023-2024年度の事業も追い込みの時期となりました。新世代委員会は、4月2日から5日までの4日間、第46回ロータリー青少年少女キャンプに携わっていただきました。コロナ禍の後、まだ本格的な活動には至っていませんが、11名の参加者がありました。

無事に終わられました。

4月11日から4月14日までの4日間、余島キャンプ場にて、第44回ライラセミナー(青少年指導者育成セミナー)を実施いたしました。ライラ委員会の一致協力によって、参加者一人ひとりの心に残る充実した4日間となりました。次への展望が開けた貴重なセミナーとなりました。

間もなくローターアクト委員会は、松山大学を会場に、会長・幹事会、提唱クラブ連絡協議会、トレーニングセミナーを実施いたします。

4月27日、28日は、会場がいつものように笑い声と熱気に包まれることと楽しみにしております。

最後はインターアクト委員会です。

5月31日、四国中央市において、インターアクトクラブ会長・幹事研修会並びにインターアクト連絡協議会を実施いたします。ここでは次年度の運営等についての協議の場をしっかりと持ちます。

各委員会のいつもながらの綿密な計画、立案、総力を挙げての取り組みに感服いたします。

このように、2670地区青少年奉仕委員会は、本年度の地区運営方針に基づき、これまでの活動を発展的に継続することを念頭に置き、変化をもたらす新たな取り組みへと挑戦しております。

これからも、それぞれの委員長のリーダーシップのもとそれぞれの特性を生かしたプログラムを組み同じ目標を共有しながら、「青少年に夢を」を心に活動してまいります。

今後とも各ロータリークラブの会員の皆様のご理解・ご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

地区委員長あいさつ



ロータリー財団委員会

委員長 赤松 昭信
(高松北 RC)

ロータリアンの皆様には日頃から格別のご配慮をいただき心よりお礼を申し上げます。5年前より世界で猛威を振るったコロナ渦も昨年度から5類感染症への移行を機に通常の例会行事を行なっていることと思えます。

ロータリー財団は皆様方の“寄付金”で成り立っております。3年前の寄付金が本年度地区に戻ってきますが、やはり寄付金額がパンデミック前より約2万ドル減少しております。従いまして地区補助金への配分にも多大なる影響がでました。

財団活動では8月末、各クラブへ地区補助金の送金。10月次年度管理委員会での地区の方針等をガバナー出席の元、討議を重ね決定した内容を、12月の高知、高松で開催された管理委員会で皆様に発表いたしました。管理委員会は次年度に地区補助金、グローバル補助金等を申請する場合に“地区と各クラブ”との取り決めを説明する場であります。残念ながら地区74クラブの内複数のクラブの欠席が有りました。補助金事業はクラブの仲間が一丸となり共通の目的を持って奉仕活動のまたとない機会ですので、出来るだけ事業参加をお願いします。

その他、12月には次年度のグローバル奨学生を2名選考しました。

4月に57クラブから地区補助金の提案書を基に補助金委員会、ガバナー補佐、ガバナノミニーカウンセラーの皆様方と内容に付き公平に審査致しました。

また、5月19日には昨年に続き地区大会当日に奨学生学友会を開く予定です。

最後になりましたが第2670地区はロータリー財団の寄付をロータリアンの皆様をお願いしております。

本年度も0クラブをお願い致します。



米山記念奨学委員会

委員長 久岡 征司
(徳島 RC)

2670地区の皆様こんにちは、今年度の地区米山記念奨学委員長、徳島RCの久岡です。この記事の筆を取っておりますのは4月中旬、私の任期もあと僅かとなり、残す行事は『地区大会(米山ナイト)』のみとなって参りました。

当地区の米山委員会では、これまでの慣例で、委員長を1年ごとの持ち回りで行うこととなっており、今年度はガバナーの体制に合わせて徳島分区で委員長の任をお引き受けさせていただいております。ロータリー年度の6月末迄をもって私の任期が無事に終わり、次年度は香川分区の体制(森次期委員長、高松東RC)へと引き継ぎをお願いする流れとなっております。

一方で反省点もあります。2670地区では学友会の活動があまり活発ではなく、期初には目標として学友会活性化に向けた取り組みを掲げておりました。しかしながら、やはり1年間では十分な活動にまでは至らず、成果に乏しい状況となってしまいました。また、寄付金に関する活動も充実したものとはいえ、こちらの方にも反省点が残っております。来年度も地区委員として留任させていただくこととなっておりますので、これらの課題には今後も継続して取り組んで参りたいと思っております。

最後になりましたが、地区のロータリアンの皆様には、今年度も米山記念奨学事業への深い理解と厚い支援をいただきありがとうございます。また、奨学生のお世話をお引き受けいただきました各クラブの関係者の皆様やカウンセラーの方々にも格別のご尽力をいただき、大変感謝しております。皆様、誠にありがとうございました。

追記: 委員経歴の浅い不肖の委員長を支えていただきました、徳島分区地区委員の藤岡様(鳴門RC)と木内様(徳島プリンスRC、委員会支援事務所の鶴野様)には心より感謝しております。本当にありがとうございました。

地区委員長あいさつ



広報・IT 委員会

委員長 坂本 厚子
(高松北 RC)



ロータリー公共イメージ 向上 DEI 委員会

委員長 三浦 聖人
(観音寺 RC)

昨年度に引き続き、今年度もロータリー公共イメージ向上DEI委員会と共に、地域のみなさまに私たちの「様々な活動」と「ロータリーの独自性と意義」を理解していただけるよう努めてきました。

地区で行った事業として「四国八十八か所霊場ポリオ根絶祈願」にあたり賛同いただいた29クラブから写真と動画を投稿していただき、ムービーを作成。また、四国4県でテレビ放送された「世界の子もたちをポリオから救う2023」の動画をご提供いただき、2本ともガバナー事務所のYouTubeチャンネルで公開しました。

- 四国八十八か所霊場ポリオ根絶祈願

<https://www.youtube.com/watch?v=Pb498NuUmSo>

- 世界の子もたちをポリオから救う2023

<https://www.youtube.com/watch?v=slKtjkYAUlk&t=316s>

是非、ご覧いただければと思います。

各クラブにおかれましては、地区協議会で、ロータリーロゴを正しく扱い、マスメディアやSNS・ガバナー月信・LINE等を通じて、私たちの活動を投稿していくようお願いをしました。ご協力いただけましたことに感謝いたします。

100年以上にわたり、よりよい地域づくりをめざしてきた私たちロータリーの経験と知識を活かし、これまでの活動を発展的に継続し続け、細やかな広報活動を行い、ロータリーブランドを強化していくことが大切だと考えます。地域のみなさまにロータリークラブへの関心を高めていただき、会員増強、事業への参画、寄付等に繋げていくことが広報の役割です。

次年度から広報・IT委員会という委員会はなくなりますが、ロータリー公共イメージ向上DEI委員会で広報活動が行われます。一年間多くのみなさまにご協力いただき、ありがとうございました。W!感謝。

昨年度発足して2年目となりました、ロータリー公共イメージ向上DEI委員会の委員長の三浦でございます。

昨年度は、初めての委員会ということで手探りの中で、RI佐藤理事が提唱する、10月24日の世界ポリオデーに合わせて実施する「ポリオ根絶」PR全国キャンペーンに参加して、当2670地区では下記の2企画を実施いたしました。

一つ目が「四国八十八ヶ所ポリオ根絶祈願参拝」で、各クラブの実情に合った参拝をお願いしました。

二つ目が四国4県の民放で、ロータリーがポリオ根絶に取り組む番組を作成して放映致しました。タイトルは「世界の子もたちをポリオから救う」です。

そして、今期も吉岡ガバナーの「継続して発展させる」と言う方針のもと、引き続き上記2企画を実施させていただきました。

お陰様で、74クラブ中41クラブ(55.4%)のご参加をいただきました。ご参加いただいたクラブの皆様には、厚く御礼申し上げます。

今後もロータリークラブのブランディングを高めていくために、皆様方のご意見を参考に努力してまいりますので、次年度も宜しく願い申し上げます。

3 月度出席報告

分区分	クラブ名	出席率 (%)	3月末 会員数	首比 増減	3月末 女性会員数	例会数
香川第一分区分	さぬき	62.96	18	-1	0	3
	東かがわ	91.84	25	2	3	4
	小豆島	92.02	34	-1	2	5
	高松	100.00	85	1	10	4
	高松中央	87.63	34	2	0	3
	高松グリーン	90.28	37	-2	4	4
	高松東	100.00	46	0	5	3
	高松北	87.50	82	2	7	4
	高松西	72.61	42	2	2	4
10RC	高松南	76.90	60	2	2	3
香川第二分区分	観音寺	94.67	43	4	4	4
	観音寺東	89.42	27	-1	4	4
	琴平	89.00	9	0	0	3
	丸亀	68.71	54	-1	4	3
	丸亀東	52.98	44	5	3	4
	坂出	100.00	40	0	1	4
	坂出東	100.00	70	-1	12	3
8RC	善通寺	83.67	37	0	0	3

分区分	クラブ名	出席率 (%)	3月末 会員数	首比 増減	3月末 女性会員数	例会数
高知第一分区分	安芸	81.82	20	1	2	3
	中芸	82.22	12	0	0	4
	香長	92.50	10	0	0	4
	高知中央	70.48	45	-1	0	3
	高知東	100.00	56	3	6	3
	高知南	88.69	80	3	10	3
7RC	高知ロイヤル	83.58	23	2	4	3
高知第二分区分	高知	82.09	83	-6	10	4
	高知西	91.75	73	-2	3	4
	高知北	77.78	34	2	3	3
	中村	81.12	56	2	7	3
	四万十	51.52	12	2	1	3
	仁淀	73.33	16	-1	2	2
	宿毛	51.04	28	2	1	4
8RC	須崎	82.22	15	1	0	3

分区分	クラブ名	出席率 (%)	3月末 会員数	首比 増減	3月末 女性会員数	例会数
愛媛第一分区分	今治	100.00	50	0	3	2
	今治北	78.33	20	-1	1	3
	今治南	98.70	62	-2	0	4
	伊予三島	91.85	35	-1	1	4
	川之江	94.15	46	-2	0	4
	新居浜	99.47	67	-1	2	3
	新居浜南	93.62	17	2	3	3
	西条	83.70	28	0	1	5
	9RC	東予	100.00	30	0	2
愛媛第二分区分	北条	88.24	9	-2	0	2
	伊予	80.15	33	0	0	3
	道後	78.65	30	1	2	3
	松山	67.71	66	-1	5	4
	松山東	68.18	20	-2	0	3
	松山北	85.09	29	2	2	4
	松山南	90.00	50	-2	5	3
	松山西	78.65	23	-1	2	4
	大洲	84.95	32	-1	2	3
	宇和島	75.93	18	0	2	3
	11RC	八幡浜	90.63	24	2	1

分区分	クラブ名	出席率 (%)	3月末 会員数	首比 増減	3月末 女性会員数	例会数
徳島第一分区分	徳島	92.80	77	-2	4	3
	徳島東	56.00	54	-1	2	2
	徳島北	84.94	31	1	6	4
	徳島プリンス	94.62	77	-2	11	5
	阿南	63.96	53	-1	5	4
	阿南南	86.17	49	1	0	4
	小松島	88.80	18	0	0	4
	小松島南	80.56	18	-3	0	4
	阿南中央	58.66	18	-2	3	3
	10RC	徳島眉山	55.56	13	0	1
徳島第二分区分	阿波池田	78.05	41	0	0	4
	御所	91.20	26	1	5	5
	鴨島	87.36	47	-2	4	4
	鳴門	69.57	48	4	5	4
	鳴門中央	80.60	37	0	2	4
	徳島中央	73.81	28	2	5	3
	徳島南	70.81	37	2	3	5
	徳島西	90.91	34	2	4	3
	脇町	74.36	39	-1	2	5
	阿波徳島	40.00	23	0	1	5
11RC	美馬	62.96	27	0	4	4

	出席率 (%)	3月末 会員数	首比増減	3月末 女性会員数
74RC合計	81.62	2,834	11	213

受賞者一覧

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



矢野 泰弘
観音寺東RC



新名 孝司
高松北RC



小川 和成
高松北RC



永野 公隆
高松北RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



寺田 覚
高知西RC

マルチプル米山功労者



矢野 泰弘
観音寺東RC



赤松 昭信
高松北RC



松岡 利安
高松北RC

マルチプル米山功労者



対馬 健三
高松北RC



加藤 整
高松北RC



坂本 厚子
高松北RC



吉見 好博
高松北RC

マルチプル米山功労者



宮本 辰三
高知西RC



寺田 覚
高知西RC



久米 操
今治RC



山崎 幸男
東予RC

受賞者一覧

マルチプル
米山功労者



飯尾 昭三
東予RC

米山功労者



橋口 基城
高松北RC



岡本ひとみ
今治北RC



秋川 史朗
東予RC

米山功労者



芥川 雅旨
東予RC



秋川 賢一
東予RC



渡部 英志
東予RC



武田 信二
東予RC

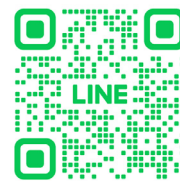
物故会員



早瀬 源慶
高知東RC
2024年3月8日ご逝去
享年87歳

ご冥福をお祈り申し上げます

ガバナー事務所から情報配信いたします。



是非、ご登録いただきますようお願いいたします。

ガバナー月信編集委員会からのお知らせ

ガバナー月信は従来の冊子の配布に変えてネット配信となっています。また、youtubeでの配信も行っていますので、ぜひご活用ください。ガバナー事務所のHPでの月信の閲覧およびダウンロードをお願いします。

<http://rid2670.jp>

記事投稿のお願い

ガバナー月信は、地区ガバナー事務所と会員の皆様との情報共有ツールです。日頃の奉仕活動等を下記へお送りください。

monthly2324@rid2670.jp

●物故会員の連絡について

クラブ名・氏名・逝去年月日を記載の上、顔写真（ファイル名を氏名にしてください。）を添付してください。

●出席報告について

毎月最終例会後、翌日15日までにガバナー事務所までメールまたはFAXでお送りください。

●受賞者紹介について

所定のエクセルファイルにクラブ名・氏名・受賞種別を入力の上、顔写真（ファイル名を氏名にしてください。）を添付してください。

●クラブの行事や活動状況について

原稿と写真を添付の上メールでお送りください。

ガバナー月信の締切は毎月15日です。

↓までお送りください。

monthly2324@rid2670.jp

国際ロータリー第2670地区 ガバナー事務所

e-mail:tokushima2023-24@rid2670.jp

国際ロータリー第2670地区ガバナー月信編集委員会 地区代表幹事:前田 康人/担当幹事:松下浩太郎

〒770-0941 徳島県徳島市万代町3丁目5-4 近藤ビル4階 TEL:088-676-2172 FAX:088-676-2173

